

# 平成31年度予算に賛成一区民の暮らしを守ります

平成31年度中野区一般会計予算は1,521億7,200万円で、前年度と比べ94億400万円、6.6%増、過去最大の予算規模で、平成35年度に起債総額が791億円に達し未来に負担を先送りする財政運営となる懸念があります。区財政が最悪と言われた平成10年頃の起債総額は、平成8年度722億円余。起債を20年かけ平成30年度に176億円余まで圧縮したにも関わらず、わずか5年で当時の額を上回ります。公明党議員団は将来負担を軽減するよう再考を求め、①「基本構想改定の検討に当たっては、現状で想定される10年間の財政フレームを議会に示されたい。」

②「新区役所整備については、今後の資金調達も含む財源を議会に示し、理解を得たうえで執行を行われたい。」  
③「平和の森公園再整備工事については、工事の中断、延伸等により生じた補償額及び損害額等の議会への報告を誠実にされたい。」との3つの意見を付しました。  
小林ぜんいち、区民負担をなくし暮らしを守ります。なおこれまで、まちづくりや区役所移転、保育園の民設民営化などに反対をして組み替え動議を出してきた会派なども来年度予算に賛成しました。

# 小林ぜんいち NEWS

## Zenichi Kobayashi



### ◆パートナーシップ制度

東京・中野区  
**同性の婚姻宣言書を受領**

「行政の改革」

パートナーシップ制度好評

当事者の声受け 公明が実現リード

国で法律の制定めざしてほしい

公明新聞2019年1月17日号

### ◆あんしんすまいパックサービス

中野区 あんしんすまいパック

あんしんすまいパックによる住み替え住宅申込みの流れ

あんしんすまいパックサービス助成手続きの流れ

中野区が助成料を補助します。



## 小林 ぜんいち

- 議会役職等
  - 公明党議員団副幹事長
  - 議会運営委員会副委員長
  - 建設委員会委員
  - 防災対策調査特別委員会委員
  - 中野区都市計画審議会委員
  - 中野区土地開発公社評議員
  - 中野区消防団運営委員会委員
- 所属団体等
  - (社)日本建築学会正会員
  - (社)東京建築士会正会員
  - 福祉住環境コーディネーター協会会員
  - マンションリフォームマネージャー
  - 日本防災士会会員
  - 早稲田大学稲門建築会会員
  - 中野稲門会会員
  - 中野区長野県人会副会長
- 経歴
  - (株)宮本忠長建築設計事務所
  - (有)TAF 設計事務所
  - 住宅・教育・医療・福祉・文化・宿泊・耐震等設計監理

## ご挨拶

日頃より、温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。私のモットーは、年齢や性別、障害の有無にかかわらず、誰もが安心して暮らせる中野のまちづくりです。そのために地域を徹して歩き、皆様の一つ一つのお声に耳を傾け、区政の発展にいかして参りました。これからも一人の声を大切に、だれもが笑顔で住み続けられるまち中野を目指して全力で取り組んで参ります。

## 小林ぜんいち

Home Page Facebook HOMEPAGE ホームページ

小林ぜんいちオフィシャルWEBサイト

ホームページ <http://kobayashizenichi.com/>

LINE ID:@vev8938s

Facebook [小林ぜんいち]で検索

— KOMEITO —

**公明党**

第27号

2019年3月発行

中野区公明党議員団

# 2019年 第一回定例会 予算特別委員会 総括質疑



総括質疑(2019.2.26)

## 質問項目

- (1) 予算編成について
- (2) 平和の森小学校の供用開始について
- (3) 平和の森公園再整備について
- (4) 区役所・サンプラザ地区再整備について
- (5) 新体育館における平和資料展示室について
- (6) その他
  - 1) 「みまーも」を活用した高齢者の地域見守り支援あいについて
  - 2) ドローンの活用について



## 小林ぜんいち 平成31年 第一回定例会 予算特別委員会 総括質疑

### 平和の森小学校の供用開始を遅れることなく進めよ



**小林** 平和の森小学校校舎基本構想・基本計画(案)で校舎整備スケジュールは、平成35年度、2023年度に新校舎で供用開始の予定となっている。学校予定地に敷地を東西に分断する地区施設道路があるが、どういった道路か。

**区** 防災機能の向上と歩行者の日常生活の安全をめざし、道路基盤のネットワークを形成する。

**小林** 平和の森小学校施設の計画は主たる屋外運動場が、暫定利用の土地となっている。避難道路は暫定活用でも地区施設道路を学校用地として活用にしてよいのか。暫定とはいったまの事か。どのように暫定利用を解消するのか。

**区** 矯正研修所跡地の南側沿道拡幅用地をすべて取得し道路整備を完了させた後、避難道路として供用開始していく。

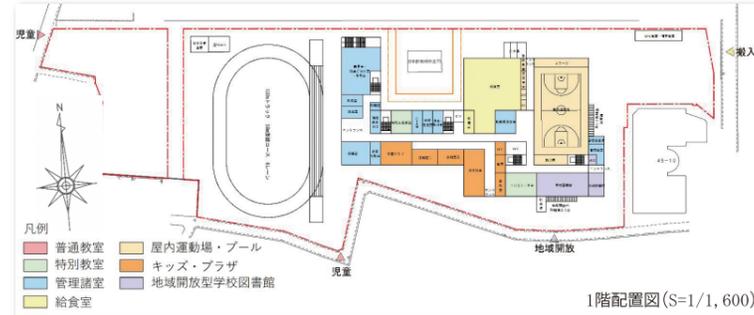
**小林** 都市計画法に基づいて地区施設道路が明確に入っている敷地、区として整備を予定している道路、公の校庭敷地の一部として使うなど暫定活用を前提とした敷地を購入し、取得後、補助金の活用は可能か。

**区** 道路用地取得は、校地編入を目的せず、地区施設道路として取得。供用開始まで使用する。

**小林** 平和の森小学校新校舎4年後の供用開始は、地域の長年の期待です。区の手続きの甘さにより遅れることなく進め、避難道路の確保と安全対策も行うべきと要望する。



中野区ホームページから



中野区ホームページから



### 区役所・サンプラザ地区再整備について

**小林** 私は中央線沿線の東京オレンジライン構想、東京西部都市圏、東京全体からと、もっと俯瞰的な視点で議論を行うことを提案してきた。超高齢化対応や今後の子育て支援策など、区民サービスを確保・充実していくためには、経済活力をもっと高めて今以上の財源を確保していかなければならない。この地区だけの狭い議論、もっといえば施設の規模論だけで終始すべきではないと考えるが、どうか。

**区** アリーナ協議会の報告書は、アリーナは中野サンプラザホールの集客交流機能を引き継ぎ整備で、これまでの興行にとどまることなく可能な施設を想定している。中野駅周辺の「にぎわい」を活力を増進させ、地域経済の発展に寄与し、国際競争力の強化につながるものとしている。

**小林** 区民会議では「ホールの規模は3,000人程度がよいのではないか」との意見が出ているが、その根拠は何か。採算も含めた財政的なシミュレーション、検討を行っているのか。

**区** 区民会議で、現在と同規模を望む声や1万人規模がまちの負担との意見がある。採算性については他の事例などを参考にしながらシミュレーションを行っている。

**小林** 3,000人規模のホールや小規模ホールとした場合、誰が運営を担うと考えているのか。

**区** 民間のノウハウを活用する考えである。

**小林** ホールでもアリーナでも、採算ベースを考えると2,000人~3,000人でも、1万人でも、公設民営とならない規模を模索すべきで、民設民営を前提として考えるべきと思うがどうか。

**区** 運営は民間を考えているが、所有は区、株式会社まちづくり中野21、民間それぞれを比較検討している。



### 新体育館での充実した平和資料展示室を

**小林** 新体育館内に平和資料展示室を設ける計画がある。見やすく平和についてより身近に感じて頂く充実した展示が必要と考える。どのような規模で、資料を展示していくのか。

**区** 旧展示室と同程度(63㎡)。テーマに沿って寄贈された資料などを常設展示するほか、企画展示を行いたい。廊下側からも展示が見ることができ、気軽に立ち寄ることが出来る場所としたい。

**小林** 平和の歴史を伝え学べる場としての整備も必要と考えるが、どうか。

**区** 書籍などを収集・整備するとともに、語り部証言映像の閲覧など学べる環境の整備を検討している。

### 「みまーも」を活用した「高齢者の地域見守り支援あい」を行ってはどうか

**小林** 65歳以上の高齢者が緊急連絡先や医療情報等を区に登録し、救急搬送や保護された際、医療機関や警察からの照会に対し迅速に情報提供を行う仕組み、「みまーも」がある。区においてもキーホルダー「みまーも」を活用した見守りを行ってはどうか。



**区** 緊急時の問い合わせにどのような体制を確保し対応していくか、個人情報の管理と情報の更新手続きなどを整える必要がある。

**小林** 地域の団体が工夫をしながら独自に活発に見守り支援あいを行う場合、区から活動拠点整備など、活動へ助成金や補助金などの支援を行ってはどうか。

**区** 地域独自に行う場合は、どのような体制で実施していくか十分な検討が必要。公益活動団体への政策助成金の活用が可能である。

### ドローンを活用した災害対応とシティプロモーションを行ってはどうか



**小林** 災害時には人の立ち入ることのできない場所の被害状況の把握に、ドローンが欠かせない資機材となっている。災害時の対応のためにドローンの具体的な導入に向けて検討してはどうか。また、こうした団体への支援や協定などを結びドローンを活用してはどうか。

**区** 災害時には特例で飛行が認められている。警察、消防、自衛隊や報道関係も被災状況の把握するために導入している。区として直接の導入は考えていないが、区内の活動団体と災害時の応援協定締結に向け、検討している。

**小林** ドローンを活用した中野の魅力を、空中から伝える観光シティプロモーションに積極的に活用してはどうか。

**区** 空からのまちや風景を撮影することは、観光施策に有効と考える。有効性と安全性を考慮して検討したい。